

一 般 質 問 通 告 書

佐野市議会議長 様

		受 付	番号 10	
			令和 6年 5月 30日	
			午前・午後 10時 40分	
議会名	令和 6 年 第 3 回 佐野市議会定例会			
発言者	議席番号 11 番 菅 原 達			
答弁を求める者 (選択してください)		☒ 市長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☒ 担当部局長		
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)		☒ なし ☐ あり (資料提示 ・ 資料配付 ・ モニター使用)		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)		小項目 (具体的な質問内容)		
1 「国際防災拠点さの」整備 方針の是非について (1) 国際防災拠点の構想と経緯について		① <u>本構想に至った背景について</u> 県議時代の議会質問、市長選の公約との関連性など、本構想に至った背景について伺う。 ② <u>庁内でのコンセンサスについて</u> 4月26日の議員全員協議会では、庁内でのコンセンサスについて『市政方針表明の事前打ち合わせ等で示されていた』との説明だが、どの程度の審議を経て、庁内での合意を得たのか伺う。 ③ <u>佐野市のポテンシャルについて</u> 「国際防災拠点さの整備方針」には、『本市が位置する栃木県は、国会等移転の最有力候補に挙げられていることから、災害に対する安全性が比較的高いと考えられているエリアである』と明記されているが、栃木県が国会等移転の最有力候補に挙げられたことが、佐野市の災害に対する安全性の高さを示す根拠となり得るものなのか伺う。		

(2) 国際防災拠点の概念について	① <u>佐野市国土強靱化地域計画（改定）について</u> 改定により『本市が「国際防災拠点」として、その機能も有していくことが期待されている』という表現に変更になっているが、変更に至った根拠について伺う。 ② <u>国の基本的な考え方との整合について</u> 国が示す「首都圏広域地方計画 基本的な考え方」には、計画の意義として以下が示される。 (1)全国的・国際的な位置付けの中での首都圏の役割に焦点を当てた施策 (2)国・都県・市区町村が一体となった施策に焦点を当てるとともに、様々な主体が行う施策について、共有した方向性に対する整合をとる つまり、国が示す計画の意義に照らすと、全国的・国際的な位置付けの中での役割を踏まえる必要があり、また、国都県と市区町村と整合を図った上で施策を練り上げる必要がある。 しかし、本市が示す整備方針は、これら国の基本的な考え方と整合が図られているとはいえない。この点について見解を伺う。 ③ <u>新機軸の「防災拠点」の概念について</u> 本市が示す「国際防災拠点」が、「首都圏広域地方計画」・「栃木県地域防災計画」・「佐野市地域防災計画」などに示される「防災拠点」の考え方とは異なることが示されている。 そして、本市の目指すべき方向性として、 『本市が考える「国際防災拠点」とは、遠方の被災地に存するこれまでの「防災拠点」と対をなし、当該「防災拠点」へ資材、物資、人材等を派遣・供給する拠点であると表現することができる。これは、これまでにあまり見られない新機軸の「防災拠点」の概念である』とある。 このように、独自で新たな概念としてこれを進める上では、専門家や関係団体との協議を経る必要があると考えるが、見解を伺う。
--------------------------	--

(3) 国際防災拠点整備のメリットについて	① <u>市民が得られるメリットについて</u> 国際防災拠点の整備により、市民はどのようなメリットを得られると考えるのか伺う。 ② <u>地域経済へ及ぼすメリットについて</u> 国際防災拠点の整備により、地域経済にどのようなメリットがあると考えられるのか伺う。 ③ <u>総事業費と費用対効果について</u> 総事業費と経済波及効果による費用対効果をどのように想定しているのか伺う。
(4) 実現可能性及び必要性について	① <u>施策の実現可能性への懸念及び必要性への疑問について</u> 海外の被災地支援も視野に入れた上で、人材の確保・物資及び燃料の常備・派遣するスキームを確立するために、既存の施設・企業等との連携や、防災関連企業等の誘致、東京圏等企業の本社機能等の移転などを推進するとしている。 しかし、これらは極めて不確実な要因を多くはらんでおり、その実現可能性に強く懸念を抱くと同時に、その必要性に疑問を感じている。 このことについて見解を伺う。
(5) 方針の見直しについて	① <u>方針の見直しについて</u> 今年度の調査を進める中で、先の地域に及ぼすメリットが得られないことや、施策の実現可能性への懸念、必要性に対する疑問が払しょくできないことが明らかになった時点で、方針の見直しを行うべきと考えるが、見解を伺う。
2 スポーツ医科学センター設置の是非について (1) 施設設置の目的と意義について	① <u>施設設置の目的について</u> 施設設置の目的について伺う。

(2) 今後の見直しについて	② <u>ターゲット及び利用見込みについて</u> 施設設置において、利用者のターゲットをどこにおき、利用の見込みをどのように想定しているのか伺う。 ③ <u>得られる効果について</u> 施設の利用により得られる効果について伺う。 ④ <u>県の施設との関連性について</u> 県の同様の施設との関連性について伺う。 ⑤ <u>国の施設と連携する必要性について</u> 国の同様の施設と連携する必要性について伺う。 ⑥ <u>行政主導で進める意義と民間施設との兼ね合いについて</u> 行政主導で進める意義と、民間施設との兼ね合いについて伺う。 ⑦ <u>費用対効果について</u> 総事業費と得られる効果（費用対効果）をどのように想定しているのか伺う。 ① <u>今後の見直しの可能性について</u> 令和6年2月の予算審査において、『ここまでのものが不要なのではないか、これではなくこういうものの方が、市民にとってはいいのではないか、という意見も出てくれば、中身は柔軟に対応させていただく』との見解を示していた。 今後の見直しの可能性について伺う。
-----------------------	--